

令和6年度カリキュラムマップ（理学部 宇宙物理・気象学科）

【 教育研究上の目的 】	【 ディプロマ・ポリシー 】
京都産業大学学長が定める「教学の理念」の礎となっている「建学の精神」に掲げられた育成すべき人材像に基づき、理学部宇宙物理・気象学科では、地球大気から宇宙全体へ至るスケールの多様な現象を物理的に理解・説明する能力を修得し、身につけた専門知識の応用力・発信力を持つ人材の養成を目的とします。	(1) 共通教育科目の修得により、幅広い知識を身につけている。
	(2) 人類の生存環境たる地球や惑星の大気圏、更にはそれらを取り巻く宇宙で起きている様々な現象を正しく理解するための能力を有する。
	(3) 修得した宇宙物理・気象学の知識を、未知の天体・気象現象の探究へと応用することができる。また、物事を多角的な視点から捉えることができ、宇宙物理・気象学を通じて身につけた技術や方法論に基づく課題解決能力を有する。
	(4) 基礎的な科学英語を理解し、英語で書かれた文献・資料を活用できる能力を身につけている。
	(5) 理論や観測等によって客観的指標を導出することで、取り扱う現象の背後にある物理を理解し、その内容を自らの言葉で、第三者に適切に伝えることができる。
	(6) 自己の信念を持ち、社会的道徳観に基づいて、宇宙物理学あるいは気象学を修めて得た知見をもとに、実社会で自らの社会的役割を果たす能力及び意志を持つ。

授業科目名	単位数	配当年次	資質・能力												
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧					
			思考力	幅広い教養	主体性	発信力	協働性・協調性	倫理性	創造性	専門知識			専門技能		
										基礎となる数学の知識	基礎となる物理学の知識	宇宙物理・気象学の専門知識	情報処理	宇宙物理学・気象学に関する課題探求	宇宙物理学・気象学に関する課題解決
専門教育科目															
微分積分学A	2	1	●								●				
微分積分学B	2	1	●								●				
微分積分学C	2	2	●								●				
微分積分学D	2	2	●								●				
代数学・幾何学A	2	1	●								●				
代数学・幾何学B	2	1	●								●				
代数学・幾何学C	2	2	●								●				
代数学・幾何学D	2	2	●								●				
数学演習1	1	1	●								●				
数学演習2	1	1	●								●				
数学演習3	1	2	●								●				
数学演習4	1	2	●								●				
物理数学	2	3	●								●				
大学数学の基礎	2	1	●								●				
宇宙物理・気象学基礎セミナー	2	1	●		●	●									
英語サマーキャンプ2	1	2	●		●	●	●		●						
力学A	2	1	●									●			
力学B	2	1	●									●			
振動と波	2	1	●									●			
電磁気学A	2	2	●									●			
電磁気学B	2	2	●									●			
熱力学	2	2	●									●			
流体力学	2	3	●									●			
量子力学A	2	2	●									●			
物理学演習1	1	1	●									●			
物理学演習2	1	1	●									●			
物理学演習3	1	2	●									●			
物理学演習4	1	2	●									●			
物理学実験	2	1	●		●	●	●		●			●			
計算機基礎	2	1	●										●		
計算機とデータ処理	2	1	●										●		
データ統計学	2	2	●								●		●		
データ科学基礎	2	2	●								●		●	●	
計算物理	2	2	●								●	●	●		●
理学英語講義（物理学）	2	3	●			●	●		●			●			
宇宙物理・気象学英書講読	2	2	●									●			
相対論	2	3	●									●			
光学	2	3	●									●			
天文学概論	2	2	●									●			
宇宙観測と星の物理学	2	2	●									●			
惑星・恒星・銀河誕生の物理学	2	3	●									●			
星間空間と銀河の物理学	2	3	●									●			
ブラックホール天文学	2	3	●									●			
宇宙論	2	3	●									●			

